



With2018年全国女性活動担当者会議

政策は身近な問題の中にある

With（JAM中央女性協議会）は、組合活動への女性参画拡大や魅力ある組合活動に向けた取り組みなどWithの2018年度重点活動計画の周知を目的に「全国女性活動担当者会議」を13地方41単組43人の参加で、2018年2月16日から17日の2日間、富山県・ゆ〜とりあ越中で開いた。工場視察では、三協立山(株)新湊工場を訪問し、ビルサッシの製造工程やショールームを見学した。

Withの政策実現活動・第1弾！

Withが作成しているJAM政策討議資料「女性の『困った』」にお答えしますを基に、グループワークを行った。

年代ごとに直面するであろう課題を書き出し、他人事ではなく自分事として捉えることを狙いに、政策・制度要求につなげる仕組みを学んだ。



不幸人生を幸せな人生にするにはどんな制度が必要かを考えた



「女性の『困った』」にお答えします」

奨学金の返済に追われ非正規雇用でしか働けない不幸ストーリーから、企業が条件付きで奨学金の返済を負担することや非正規雇用者の労働条件の把握と改正、中学生からのワークルールの勉強など幸せに近づくストーリーを考えた。

準備から試験終了までに3～4か月かかる

工場内には、国内最大級の試験施設(水密、耐震、風圧等)があり、準備から試験終了までに3～4か月かかることに、参加者一同驚いた。安全教育に関する質問には、職場異動の際、総務で受入教育してから、各工場や職場に応じた教育を行っている」と説明を受けた。



With役員・参加者と三協立山労組・辻 政光 中央執行委員長